

様式6

平成17年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 研究種目名 特定共同研究 (A) 2. 課題番号 2005-A-03

3. 研究課題(集会)名 和文：GPSによる総合的観測研究
英文：Synthetic studies using Global Positioning System

4. 研究期間 平成17年 4月10日 ~ 平成18年 3月30日

5. 研究場所 東海地方, 東京大学地震研究所

6. 研究代表者所属・氏名 東京大学地震研究所・加藤照之
(地震研究所担当教員名) _____

7. 共同研究者・参加者名(別紙可)

共同研究者名	所属・職名	備考
(別紙参照)		

8. 研究実績報告(成果)(別紙にて約1,000字A4版(縦長)横書)(別紙に作成)
(別紙参照)

10・成果公表の方法（投稿予定の論文タイトル、雑誌名、学会講演、談話会、広報等）
 内海さや香他，東海地域の稠密 GPS 観測，日本地球惑星科学連合 2006 年大会（於幕張），
 D124-P003，2006.

共同研究参加者名簿

所属	職名	氏名	参加場所
北海道大学大学院	教授	笠原稔	東京大学地震研究所
東北大学大学院	助教授	三浦哲	東京大学地震研究所
茨城大学理学部	助教授	宮下芳	東京大学地震研究所
東京大学地震研究所	教授	加藤照之	東京大学地震研究所
東京大学地震研究所	研究員	岩国真紀子	東京大学地震研究所
東京大学地震研究所	大学院 D3	福田淳一	東京大学地震研究所
東京大学地震研究所	研究員	飯沼卓史	東京大学地震研究所
静岡大学理学部	教授	里村幹夫	東京大学地震研究所
静岡大学理学部	大学院 M1	内海さや香	東京大学地震研究所
名古屋大学大学院	助教授	鷲谷威	東京大学地震研究所
名古屋大学大学院	助教授	木股文昭	東京大学地震研究所
名古屋大学大学院	大学院 D2	Irwan Meilano	東京大学地震研究所
名古屋大学大学院	大学院 D1	太田雄策	東京大学地震研究所
名古屋大学大学院	大学院 M2	大園真子	東京大学地震研究所
名古屋大学大学院	大学院 D2	村瀬雅之	東京大学地震研究所
京大防災研	教授	川崎一朗	東京大学地震研究所
京大防災研	教授	橋本学	東京大学地震研究所
京大大学院	教授	平原和朗	東京大学地震研究所
高知大学理学部	教授	田部井隆雄	東京大学地震研究所
九州大学大学院	助教授	松島健	東京大学地震研究所
鹿児島大学理学部	助教授	中尾茂	東京大学地震研究所
東海大学海洋学部	講師	原田靖	静岡県
静岡大学理学部	大学院 M1	内海さや香	静岡県

研究実績報告

本年度の共同研究においては、まず「GPS 大学連合」で実施している東海稠密アレイ GPS 観測を継続して実施した。このため、東大地震研、静岡大学、東海大学等の研究者が静岡県内の GPS 観測点においてデータ回収、観測点保守などを行った。観測は主として静岡県内の小中学校を借用して実施しているが、このうち一部では夜間に主電源を切断する学校があり、このため観測データが一部取得できない、などのトラブルが発生した。このため急遽バッテリーなどを併設してデータが連続して取得できるようにするなどの対策を施したが、完全な解決には至っていない。これまでに取得したデータを解析し、時系列データを得たほか、GEONET データと比較検討し、誤差が GEONET と比較して有意に大きくはないこと、また、ひずみ分布で GEONET よりも細かなひずみの空間分布が得られること、などが明らかになった。

平成 18 年 3 月 29 日には「GPS 大学連合」関係者が東京大学地震研究所に集結し、本年度の成果について概観すると共に、次年度に向けての課題・活動プランについて打ち合わせを行った。下記にその際のメモを付す。

=====

平成 17 年度「GPS 大学連合」集会メモ

日時：2006 年（平成 18 年） 3 月 29 日 13 時 30 分～17 時

場所：東京大学地震研究所 第二会議室

出席者（順不同、敬称略）：松島健（九大理）、鷺谷威・木股文昭・Irwan Meilano・太田雄策・大園真子・村瀬雅之（名大理）、里村幹夫・内海さや香（静大理）、川崎一朗・橋本学（京大防災研）、平原和朗（京大理）、中尾茂（鹿大理）、加藤照之・福田淳一・岩国真紀子・飯沼卓史（東大震研）、笠原稔（北大理）、田部井隆雄（高知大理）、三浦哲（東北大理）

議事メモ（敬称略）：

（1）平成 17 年度の活動報告を行った。

- ・平成 17 年度の経緯について加藤より概略が述べられた。
- ・平成 17 年 3 月福岡県西方沖地震について松島より報告があった。
- ・平成 17 年 8 月宮城県沖地震について三浦より報告があった。
- ・地震予知研究について、鷺谷より跡津川断層周辺の GPS 観測について報告があった。また、里村及び加藤より東海地方の GPS 観測について報告があった。

（2）平成 18 年度の活動について意見を交換した。

- ・研究集会について、防災研及び地震研の共同利用に提案していたものが両方とも採択された、との報告があり、どのように実施するか、について意見を交換した。その結果、本年 9 月 13-15 日を第一案、9 月 20-22 日を第二案として調整することとした。また、InSAR などの研究集会との関連についても意見を交換した。

- ・平成 18 年度の GPS 観測について意見を交換した。特に、2000 年代はじめから休止している伊東市周辺における GPS 観測について、最近の活動活発化の兆し及び教育的効果を背景に、再開するかどうかについて意見を交換した。検討の結果、本年 6 月 26-30 日の週に実施することを前向きに検討することとした。なお、その際、ボルト等による固定観測を

中心とすること，RTK-GPS の本格的導入，などを考慮することとした．

(3) 話題提供

- ・各大学から話題の提供があった．(内容は略)

終了後，根津「車屋」にて懇親会を行った．

(以上，文責加藤照之)